日本共産党

辻井タカ子後援会だより

2011年 4月 第172号

辻井タカ子のホームページアドレス
http://www.t-takako.jp

発行者：日本共産党富木島後援会
連絡先：堀本：６０４－５８２０
：辻井：６０４－７９１４

東日本大震災の被害に遭われたすべてのみなさんへ
心よりお見舞い申し上げます

救援募金にご協力頂いた後援会員さん、ありがとうございます
集まった金額は党中央委員会より、被災地域の県、各市町に届けさせて頂いております
日本共産党は今後も「被災者救援」を最優先するためにあらゆることを行っていきます

引き続きのご支援をよろしくお願いします。

市政報告会と新病院の学習会のご案内

緊急!!

◆４月３日（日）　◆午後１時半から
◆東海市文化センター　第２講義室

東海地震で新病院は大丈夫？

西知多厚生組合（東海市・知多市）は新病院の予定地として知多市緑町地内（知多海浜プール、ふれあい広場）と決定しました。ここは埋め立て地であり、近くには石油コンビナートが立地しており大変危険な場所です。東日本の大地震、大津波などの教訓を生かすとここの場所は地域住民の命・健康を守る点で最もふさわしくない場所です。危険な場所に新病院を建設しないよう、署名活動に取り組んで市民の声を市に届けていきましょう。　そのための市政報告と学習会を計画しました。ご参加ください。

震災直後に取り組んだ救済募金活動

辻井タカ子議員の報告

共産党は市民を災害から守る立場で提案し実行します

東日本大震災で被災されたみなさまに心からのお見舞いを申し上げます。

地震発生時、私は市役所２階議員控え室にいました。頭がくらくらして気分が悪くなり、病気かと思うほどで、窓のコトコトという音で、やっと地震に気がつきました。

議会事務局では、職員が釜石市の立派な防波堤が大津波に飲み込まれ、陸側を襲っているパソコンの映像に釘付けになっていました。この堤防はギネスブックに認定された立派なもので、このような甚大な被害が出るとは誰も思っていませんでした。津波対策の抜本的な見直しが迫られています。

それから庁内は大騒ぎ、対策会議を持ち、釜石市の救援の準備や市内の河川の見回りなど行われ、土曜日、私が、役所に寄った時には、防災・土木・水道･福祉･消防など職員が出勤してそれぞれの持ち場で頑張っていました。

司令塔である役所が崩壊し職員などに多大な犠牲者が出て、家族の安否も分からないなどのなか、残っている職員が懸命に住民の命・暮らしを守ろうと昼夜を問わず働く姿は胸を打ち､行政の役割と職員の役割の重さ(重要さ)を再認識しました。

それにしても､｢原発は安心だ｣といっていたことが一瞬にして崩れました。

２００６年に日本共産党吉井衆議院議員は国会で、津波によって冷却水が海から取水できなくなることを具体的に指摘し追求してきたことに、何の対策もせず、｢安全神話｣を振りまいてきた政府や東京電力の責任は重大です。

私は３月議会で、新病院建設予定地が、埋め立て地で液状化の危険度が極めて高い地域であることを示し､｢病院建設予定地として適切でない｣と見直しを迫りました。市は｢地震に耐えるよう建物の構造や地盤など、今後検討していく｣と、大震災の恐ろしさの認識が全くありませんでした。

今、東海・東南海地震が叫ばれている中、こんなことでいいでしょうか。これまで以上に｢予定地｣への不安と批判が広がっています。日本共産党は｢建設予定地を白紙に戻す請願署名｣を市民のみなさんと取り組みたいと考えています。大きな運動にしていきましょう。

声

♥兄弟が釜石にいる。なかなか連絡が取れなかったがみんな生存していると聞いてホットしている。家が流されているので衣類などを山梨の弟に持って行ってもらおうと荷造りをしている。ガソリンもやっと手に入ったから。

♥放射能被害なんてとんでもない！安心して住む事の出来る日本を創ってもらうためにカンパします！

♥その昔、仙台から東海市へ仕事で来た。初めはこの地が嫌で嫌で仕方がなかったが、こんな災害を見ると命拾いをしたのかと不思議な気持ちだ。

♥福島原発も被害を広げに広げて結果は廃炉か…それにしても日本列島は原発に覆われている。エネルギー対策、国のあり方など真剣な議論が必要かなと思う。